

# 平成 23 年度事業報告

昨年 3 月 11 日の東日本大地震と大津波、福島第一原子力発電所からの放射性物質の漏えい事故の復興への道はまだ遠く、やっと復旧の緒に就いたところです。

震災直後から一般社団法人日本補聴器工業会（以下、日本補聴器工業会）、一般社団法人日本補聴器販売店協会（以下、日本補聴器販売店協会）と共に、被災された補聴器装用者の方々への支援にあたってきましたが、6 月 30 日を以て一応の終了とさせていただきます。被災された多くの補聴器装用者の方々から感謝のお言葉を頂戴しましたが、この支援の中核となったのが、自身も被災した私たちの仲間であったことは忘れてはならないことです。

当協会では、会員の皆様から義援金を募り被災 3 県の会員の皆様にお見舞金を贈らせていただきました。会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

さて、平成 23 年の補聴器国内出荷台数（日本補聴器工業会調べ）は、年度の当初には震災等の影響もあってか前年比 2.7%減からのスタートでしたが、年度全体では 48 万 8,704 台（前年比 1.6%増）と盛り返すことができました。機種別では、耳かけ型の伸びが引き続き堅調で、耳かけ型上位の傾向が続いています。

公益財団法人テクノエイド協会（以下、テクノエイド協会）と業界三団体は、「補聴器適正供給システムの構築プロジェクト」を立ち上げ、日本における補聴器供給の指針作りに着手しました。このプロジェクトは、補聴器は「専門技術者による対面販売」が大前提であり、「補聴器技能者の公的資格」、更には「補聴器の有資格者販売制度」の実現化を推し進めるものです。

テクノエイド協会の認定補聴器技能者の養成制度に新カリキュラムが導入されて 2 年目を迎えた。難聴の方々に信頼され、安心して補聴器の適合作業ができる知識と技能を修める補聴器技能者を育成するため、この「認定補聴器技能者養成制度」へ要員を派遣しました。

補聴器技能者の一歩進んだ知識と技能を修めるための育成事業として、当協会主催の研修会を 2 回開催しました。これは会員が補聴器のプロとしての意識・知識・技術の向上を目的とした事業であり、今後も強化事業として取り組んでいきます。また、会員からの要望もあって、認定補聴器技能者試験のための受験対策講座を初めて開催しました。これには幅広い知識を必要とする試験のための総復習とし、過去問題を利用しました。両研修事業には多くの参加者を得て、好評裡に終えることができました。

広報関連では、メールマガジンの配信の他、会誌「The MiMi Tribune」を発行し、会員の皆様へ情報提供させていただきました。その他に展示会としてオヤノコト.エキスポ 2011、バリアフリー2011 に要員を派遣し、一般の方々に進歩した最近の補聴器の機能と当協会の PR 活動を行いました。

会員増強活動として、テクノエイド協会の各講習会で受講者を対象に入会勧誘を行い、その結果として 48 名の会員増となりましたが、まだまだ満足できる組織率とは言えず今後も会員増に向けた大きな活動の必要性を感じました。

〔会員構成〕

会 員 の 別	期首	期末	増減
一 般 会 員	7 名	6 名	△1 名
資 格 認 定 会 員	412 名	419 名	7 名
準 会 員	125 名	161 名	36 名
賛 助 会 員 (法 人)	9 社	10 社	1 社
賛 助 会 員 (個 人)	1 名	6 名	5 名
特 別 会 員	0 名	0 名	0 名
会 員 合 計	554 名	602 名	48 名

## 〔事業報告〕

### ○特定非営利活動に係る事業について

平成 23 年度の重点活動目標として次の 4 項目を掲げて活動してきました。

1. 補聴器技能者の育成活動（定款第 5 条第 1 項 1 号①）
  - ① 講習会を 8 月（受講者 70 名）、12 月（受講者 72 名）の 2 回開催しました。
  - ② 認定補聴器技能者試験の対策講座（受講者 39 名）を開催しました。
  - ③ 会誌「The MiMi Tribune」により情報提供を行いました。
2. 補聴器技能者の普及啓発活動（定款第 5 条第 1 項 1 号②）
  - ① 各種講習会、催事会場で補聴器普及と当協会の広報活動を行いました。
  - ② ホームページを改善し、技能者インタビューを追加しました。
  - ③ メールマガジンの配信を開始しました。
  - ④ バリアフリー展、国際福祉機器展へ要員を派遣しました。
  - ⑤ 会誌「The MiMi Tribune」を発行しました。
3. 本法人と関連学会・団体との情報交換及び研究等共同事業（定款第 5 条第 1 項 1 号③）
  - ① 日本補聴器販売店協会、日本補聴器工業会と当協会の業界 3 団体で合同三役会議を 4 回開催し意見交換を行いました。
  - ② テクノイド協会と業界 3 団体で「補聴器適正供給システムの構築プロジェクト」を発足し検討会を開催しました。
  - ③ 両耳装用補聴器の供給に関するガイドライン検討会へ参加しました。
  - ④ 補聴器販売店における補聴効果の確認方法についての研究を開始しました。
  - ⑤ テクノイド協会の認定補聴器技能者養成事業に協力しました。
4. その他目的を達成するために必要な事業（定款第 5 条第 1 項 1 号④）
  - ① 会員名簿を作成し、関係諸団体への送付や催事等で配布しました。
  - ② あらゆる機会を捉え、会員募集のための広報活動を展開してきました。その結果、48 名の増員となりました。

### ○東日本大震災支援活動

日本補聴器工業会、日本補聴器販売店協会と共に、被災された補聴器を装用する方々への支援活動を実施しました。また、会員の皆様からの義援金を岩手・宮城・福島の前 3 県の会員へお見舞い金として贈らせていただきました。

#### 義援金活動 収支報告

	収入	支出	残額	
3月17日～3月31日義援金収入	105,000		105,000	
5月11日(お見舞金拠出)		600,000	△ 495,000	3万円×20名(岩手・宮城・福島の会員)
4月1日～10月31日義援金収入	714,930		219,930	
当協会からの拠出金	180,070		400,000	
11月18日(お見舞金拠出)		400,000	0	4万円×20名(岩手・宮城・福島の会員)
計	1,000,000	1,000,000	0	

### ○その他の事業（定款第 5 条第 2 項）

実施していません。

## 〔主な活動内容〕

以下に平成 23 年度の主な活動報告を記します。

- 4 月 ・バリアフリー2011（大阪）に日本補聴器販売店協会と共同出展 ・合同三役会議  
・第 15 回理事会
- 5 月 ・東日本大震災被災地（岩手，宮城，福島）3 県を訪問し，会員にお見舞金をお渡しした ・会計監査会
- 6 月 ・第 16 回理事会 ・第 6 回通常総会  
・両耳装用補聴器の供給に関するガイドライン検討会
- 7 月 ・合同広報委員会 ・合同三役会議  
・オヤノコト. エキスポ 2011 で補聴器相談を実施 ・研修会企画プロジェクト  
・補聴器販売店における補聴効果の確認方法の作成ワーキンググループ
- 8 月 ・研修会企画プロジェクト ・広報委員会
- 9 月 ・広報委員会 ・研修会企画プロジェクト
- 10 月 ・両耳装用補聴器の供給に関するガイドライン検討会 ・資格制度委員会  
・合同三役会議 ・試験対策講座実施
- 11 月 ・東日本大震災被災地（岩手，宮城，福島）3 県の会員にお見舞金をお渡しした  
・第 17 回理事会 ・広報委員会 ・補聴器適正供給システムの構築プロジェクト
- 12 月 ・合同広報委員会  
・補聴器販売店における補聴効果の確認方法の作成ワーキンググループ
- 1 月 ・全日本難聴者・中途失聴者団体連合会訪問 ・関係団体へ挨拶回り  
・合同三役会議
- 2 月 ・両耳装用補聴器の供給に関するガイドライン検討会  
・補聴器販売店における補聴効果の確認方法の作成ワーキンググループ
- 3 月 ・研修会企画プロジェクト ・合同広報委員会  
・補聴器販売店における補聴効果の確認方法の作成ワーキンググループ

その他，適時に開催されるテクノエイド協会主催の講習会，補聴器技能者養成部会，補聴器技能者試験部会，認定補聴器専門店審査部会に参加しました。

以上，平成 23 年度の事業報告に当たり，会員各位のご協力に感謝申し上げます。

# 平成23年度決算報告書

## 平成23年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成24年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
流動資産			
現金預金			
現 金	587,002		
普 通 預 金	3,198,366		
郵 便 貯 金	323,500		
未収会費	48,000		
流動資産合計		4,156,868	
資産合計			4,156,868
II 負債の部			
流動負債			
前 受 金	54,000		
仮 受 金	1,500		
流動負債合計		55,500	
負債合計			55,500
III 正味財産の部			
正味財産			4,101,368
(うち当期正味財産減少額)			( 962,882)
負債及び正味財産合計			4,156,868

# 平成23年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額		予 算 - 決 算
<b>I 収入の部</b>				
1 会費・入金収入				
入金収入	300,000	120,000		180,000
会費収入	6,200,000	6,463,500		△263,500
	6,500,000		6,583,500	△83,500
2 事業収入				
育成事業	1,000,000	1,166,250		△166,250
	1,000,000		1,166,250	△166,250
3 寄付収入				
寄付金収入	500,000	0		500,000
	500,000		0	500,000
4 雑収入				
受取利息	1,500	590		910
	1,500		590	910
収入合計	8,001,500		7,750,340	251,160
<b>II 支出の部</b>				
1 事業費				
育成事業	800,000	1,225,986		△425,986
啓発事業	1,200,000	976,690		223,310
研究事業	700,000	638,180		61,820
	2,700,000		2,840,856	△140,856
2 管理費				
会議費計	2,800,000	2,614,720		185,280
理事会費	900,000	664,950		235,050
その他会議費	400,000	443,820		△43,820
資格制度委員会	1,000,000	948,250		51,750
広報委員会	400,000	557,700		△157,700
総務委員会	100,000	0		100,000
総会費	800,000	521,662		278,338
旅費交通費	250,000	346,000		△96,000
通信費	250,000	400,759		△150,759
消耗品費	150,000	140,210		9,790
支払手数料	10,000	6,510		3,490
賃貸料（家賃）	600,000	600,000		0
租税公課	3,000	0		3,000
顧問料（税理士他）	30,000	0		30,000
寄付金	1,000,000	285,070		714,930
事務委託費	900,000	900,000		0
雑費	0	815		△815
渉外費	20,000	56,620		△36,620
	6,813,000		5,872,366	940,634
3 その他資金支出				
雑損失	0	0		0
	0		0	0
支出合計	9,513,000		8,713,222	799,778
当期収支差額	△ 1,511,500		△ 962,882	△548,618
前期繰越収支差額	4,997,544		4,997,544	0
次期繰越収支差額	3,486,044		4,034,662	△548,618

平成23年度 特定非営利活動に係る事業会計正味財産増減計算書

自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会  
(単位：円)

科 目	金 額		
(増加の部)			
資産増加額			
負債の減少額			
増加額合計			0
(減少の部)			
資産減少額			
当期収支差額	962,882	962,882	
負債増加額			
減少額合計			962,882
当期正味財産減少額			962,882
繰越正味財産額			4,997,544
期末正味財産合計額			4,034,662

平成23年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

平成24年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会  
(単位：円)

科 目		金 額	
I 資産の部			
流動資産			
現 金	587,002		
普 通 預 金	3,198,366		
郵 便 貯 金	323,500		
技能者協会	320,500		
JHITA研修会	3,000		
未 収 会 費	48,000		
流 動 資 産 合 計		4,156,868	
資 産 合 計			4,156,868
II 負債の部			
流動負債			
前 受 金	54,000		
仮 受 金	1,500		
流 動 負 債 合 計		55,500	
負 債 合 計			55,500
正味財産			4,101,368

注記	普 通 預 金	みずほ銀行 神田駅前支店 普通預金 2126161
	郵 便 貯 金	
	技能者協会	振替貯金 00130-5-631089
	JHITA研修会	振替貯金 00180-1-299580
	未 収 会 費	48,000円 (4名)
	前 受 金	会費 54,000円 (8名)
	仮 受 金	過大振込 1,500円 (1名)



**平成23年度 その他の事業会計貸借対照表**

平成24年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会  
(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
流動資産			
現金・預金	0		
流動資産合計		0	
資産合計			0
II 負債の部			
流動負債	0		
流動負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
正味財産			0
(うち当期正味財産額増加額)			(0)
負債及び正味財産合計			0

**平成23年度 その他の事業会計収支計算書**

自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会  
(単位：円)

科 目	金 額		
I 収入の部	0		
収入合計		0	
II 支出の部	0		
支出合計		0	
当期収支差額			0
前期繰越収支差額			0
次期繰越収支差額			0

平成23年度 その他の事業会計正味財産増減計算書

自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会  
(単位：円)

科 目	金 額		
(増加の部)			
資産増加額			
当期収支差額	0		
		0	
負債の減少額	0		
増加額合計		0	
			0
(減少の部)			
資産減少額	0		
		0	
負債増加額	0		
減少額合計		0	
			0
当期正味財産増加額			0
前期繰越正味財産額			0
期末正味財産合計額			0

平成23年度 その他の事業会計財産目録

平成24年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会  
(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
流動資産			
現金	0		
普通預金	0		
郵便貯金	0		
流動資産合計		0	
資産合計			0
II 負債の部			
流動負債	0		
流動負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			0

以上のとおり報告いたします。

平成24年6月15日

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会  
理事長 宮永 好章

当協会の会計に関する帳簿及び証拠書類等に基づき  
厳正なる監査を行った結果、正確かつ妥当であることを認めます。

平成24年5月15日

監事 田代 實



監事 瀬部 保夫

